

厚生労働省発薬生 0907 第 66 号
平成 30 年 9 月 7 日

薬事・食品衛生審議会会長
橋田 充 殿

厚生労働大臣 加藤 勝信

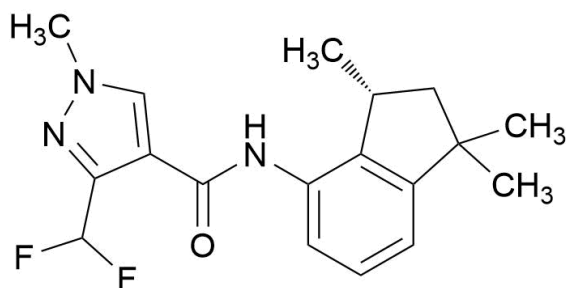
諮 問 書

下記の事項について、毒物及び劇物取締法（昭和 25 年法律第 303 号）第 23 条の 2 の規定に基づき、貴会の意見を求めます。

記

3-（ジフルオロメチル）-1-メチル-N-[(3R)-1, 1, 3-トリメチル-2, 3-ジヒドロ-1H-インデン-4-イル]-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド及びこれを含有する製剤（ただし、3-（ジフルオロメチル）-1-メチル-N-[(3R)-1, 1, 3-トリメチル-2, 3-ジヒドロ-1H-インデン-4-イル]-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド 3%以下を含有するものを除く。）の毒物及び劇物取締法に基づく劇物の指定について

3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-N-[(3R)-1,1,3-トリメチル-2,3-ジヒドロ-1H-インデン-4-イル]-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド及びこれを含有する製剤(ただし、3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-N-[(3R)-1,1,3-トリメチル-2,3-ジヒドロ-1H-インデン-4-イル]-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド3%以下を含有するものを除く。)の毒物及び劇物取締法に基づく劇物の指定について



$C_{18}H_{21}F_2N_3O$

CAS No. : 1352994-67-2

名称 (英語名) 3-(Difluoromethyl)-1-methyl-N-[(3R)-1,1,3-trimethyl-2,3-dihydro-1H-inden-4-yl]-1H-pyrazole-4-carboxamide
(日本語名) 3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-N-[(3R)-1,1,3-トリメチル-2,3-ジヒドロ-1H-インデン-4-イル]-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド

経緯

上記化学物質は、現在、毒物又は劇物に指定されていないが、今般、事業者より、農薬登録申請に基づき、原体及び3%製剤の毒性データが提出され、別添の結果が得られた。

用途

農薬(殺菌剤)

物理的・化学的性質

別添1を参照

毒性

別添2を参照

事務局案

3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-N-[(3R)-1,1,3-トリメチル-2,3-ジヒドロ-1H-インデン-4-イル]-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド及びこれを含有する製剤(ただし、3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-N-[(3R)-1,1,3-トリメチル-2,3-ジヒドロ-1H-インデン-4-イル]-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド3%以下を含有するものを除く。)については、「劇物」に指定することが適当である。

【別添 1】

物理的・化学的性質（原体）

項目	
名称	(英語名) 3-(Difluoromethyl)-1-methyl-N-[(3R)-1,1,3-trimethyl-2,3-dihydro-1H-inden-4-yl]-1H-pyrazole-4-carboxamide (日本語名) 3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-N-[(3R)-1,1,3-トリメチル-2,3-ジヒドロ-1H-インデン-4-イル]-1H-ピラゾール-4-カルボキサミド
CAS 番号	1352994-67-2
化学式	C ₁₈ H ₂₁ F ₂ N ₃ O
分子量	333.38
物理化学的性状	
外観	白色粉末
沸点	測定不能 (237°C* ¹ で分解)
融点	104°C
密度	1.24 g/cm ³ (20.0±1.0°C)
相対蒸気密度	—
蒸気圧	3.8×10 ⁻⁸ Pa (20°C)、1.2×10 ⁻⁷ Pa (25°C)、
溶解性	水：1.64×10 ⁻² g/L (pH 5.5~5.8, 20°C)、 アセトン：621 g/L (20°C)、ジクロロメタン：353 g/L (20°C)、 酢酸エチル：396 g/L (20°C)、n-ヘキサン：0.982 g/L (20°C)、 メタノール：368 g/L (20°C)、n-オクタノール：84.6 g/L (20°C)、 トルエン：67.9 g/L (20°C)
安定性	(対熱) 250°C* ² まで安定
反応性	—

* 1：沸点は、Siwoloboff 法により、目視において 237°C で色の変化が確認されたため、237°C で分解とした。
(OECD TG 103)

* 2：熱安定性は、示差走査熱量計 (DSC) による示差熱分析において、DSC で加熱しながら試料の状態変化について、基準物質 (空のアルミニウムパン) との温度差を、発熱反応及び吸熱反応のピークとして測定したところ、当該物質は、約 250°C まで発熱ピークが観測されなかったため、250°C まで安定と判断した。
(OECD TG 113)

【別添2】

毒性（原体）

試験の種類	供試動物	試験結果	備考
急性経口毒性	ラット	LD ₅₀ : 180 mg/kg	OECD TG 425, 12 農産 8147 号* GLP 準拠
急性経皮毒性	ラット	LD ₅₀ : ♂♀ >2,000 mg/kg	OECD TG 402, 12 農産 8147 号* GLP 準拠
急性吸入毒性 (ミスト) *	ラット	LC ₅₀ : ♂♀ >2.61 mg/L/4hr	OECD TG 403, 12 農産 8147 号* GLP 準拠
刺激性	ウサギ	皮膚腐食性 : なし	OECD TG 404, 12 農産 8147 号* GLP 準拠
	ウサギ	眼刺激性 : 極軽度の刺激性	12 農産 8147 号* GLP 準拠

* : ポリエチレングリコールに溶解し、エアロゾル化したデータ。

毒性（3%製剤）

試験の種類	供試動物	試験結果	備考
急性経口毒性	ラット	LD ₅₀ : >3,000 mg/kg	OECD TG 423, 12 農産 8147 号* GLP 準拠
急性経皮毒性	ラット	LD ₅₀ : ♂♀ >2,000 mg/kg	OECD TG 402, 12 農産 8147 号* GLP 準拠
刺激性	ウサギ	皮膚腐食性 : なし	OECD TG 404, 12 農産 8147 号* GLP 準拠
	ウサギ	眼刺激性 : 極軽度の刺激性	12 農産 8147 号* GLP 準拠

* : 「農薬の登録申請に係る試験成績について」（平成12年11月24日付け12農産第8147号 農林水産省農産園芸局長通知）